

関東甲信越地区大会 基礎部門

審判・役員連絡会議内容と運営側より連絡

- ・ 1位～5位を入賞とし、1位～3位までが全国大会に進出する。1、2位は決勝戦で順位が確定し、3位以降の順位は競技とプレゼンテーションの内容の審査によって決定する。
- ・ 車検ではカメラをコートに近づけられるようにする。カメラを固定してしまっていて動かせない場合は、車検時のみ2回線で接続しても良いこととする。
- ・ プレゼンのカメラは選手の姿が見えるような位置にする。音声はマイクを使って、本部に聞こえるようにする。またプレゼンの参加人数は問わない。
- ・ プレゼンの制限時間2分以内に収まらない場合は、途中で打ち切る。
- ・ 競技時は、コートの全体（相手側のコートが多少欠けるのは可）が映るようにし、カメラから離れた方のコートで競技する。コートの色は問わない。
- ・ プレゼン・競技ともにスタートの合図は本部で行う。準備ができたなら本部に報告し、本部で「3、2、1、スタート」で始める。
- ・ パーフェクトゲームの判断は審判が行い、パーフェクトゲームが確認出来たら、本部に向けて宣言と合図を送る。その宣言をもって本部はタイマーを止め、残り時間が記録となる。
- ・ ピットインは会場の審判だけでなく、本部にもわかるように行う（ダブルチェックのため）。ピットインと再スタートの許可は会場の審判が行う。
- ・ 競技時間が終了した時にリモコンを持っていないように90秒経つまでにリモコンを置くように指導する。
- ・ 参考程度にストップウォッチやデジタイマーを使用しても良いが、公平性を保つために本部のタイマーを基準とする。